

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動, 評価等及び令和8年度活動計画

評価 : ◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦ 改善事項を踏まえたR8活動計画
1	主管会議	校長	総務企画係	21	①本校の重要事項について適切に審議した。 ②定例会議13回, 臨時会議8回(うち, 3回はメール開催)開催。 ③運営会議・教員会議その他委員会等の意見・要望を考慮しつつ, 適切な審議および判断を下した。 この他引き続き会議資料をペーパーレスとし, 経費削減・業務削減を行った。 ④主管会議構成員連絡調整会議を毎週開催した。 ⑤令和7年度卒業式について, コロナ禍前に実施の名誉教授の招待を再開した。また, 令和8年度入学式についても, 来賓の招待を再開することとした。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。 但し, ⑤コロナ禍での学校行事に関する内容と業務の改善(学び)が活かされているか不明である。	◎		①主管会議・運営会議・教員会議全体の運営体制として, 運営会議(協議)→主管会議(審議・承認)→教員会議(報告・周知)の流れで開催し, 主管会議では本校の重要事項について審議する。 ②年間13回の定例主管会議(毎月1回※3月は2回)および, 緊急を要する場合には臨時主管会議を適宜開催する。 ③運営会議・教員会議その他委員会等の意見・要望を考慮しつつ, 適切な審議および判断を下す。 ④主管会議構成員連絡調整会議を毎週開催する。 ⑤各種学校行事について, コロナ禍において見直した実施方法を引き続き検討する。
2	運営会議	校長	総務企画係	17	①本校の運営事項について協議した。 ②定例会議13回, 臨時会議4回(うち3回はメール開催)開催。 ③各学科・その他委員会等の意見・要望を共有しながら, 適切に協議した。また, 令和7年度卒業式について, コロナ禍前に実施の名誉教授の招待を再開し, 令和8年度入学式についても, 来賓の招待を再開することとした。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。 但し, ③コロナ禍での学校行事に関する内容と業務の改善(学び)が活かされているか不明である。	◎		①主管会議・運営会議・教員会議全体の運営体制として, 運営会議(協議)→主管会議(審議・承認)→教員会議(報告・周知)の流れで開催し, 運営会議では本校の運営事項について協議する。 ②年間13回の定例運営会議(毎月1回※3月は2回)および, 緊急を要する場合には臨時運営会議を適宜開催する。 ③各学科・その他委員会等の意見・要望を共有しながら, 適切に協議する(学校行事のあり方も必要に応じて協議の対象とする)。
3	スパイラルアップ会議	校長	総務企画係	3	①本校の各種点検に関することについて, 調査および審議した。 ②点検評価・FU委員会および将来計画委員会と連携し, 本校の会議・委員会等の活動や点検評価, FD活動のブラッシュアップを図った。 ③参加者の指摘事項への対応を翌4月以降に実施していたところ, 年内(11月)より対応を進めることとした。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①本校の各種点検に関することについて, 調査および審議する。 ②点検評価・FU委員会および将来計画委員会と連携し, 本校の会議・委員会等の活動や点検評価, FD活動のブラッシュアップを図る。 ③自己点検・評価実施計画を定め, それに沿って自己点検・評価を実施する。
4	教務会議	教務主事	教務係	34	対面会議29回+メール会議5回 ①入試広報として, 在学生からのメッセージを, パネルにまとめ, オープンキャンパスや入試説明会で, 来校した中学生や保護者に関覧してもらった。 ②令和9年度からの推薦基準の変更は, 中学校訪問において特に, 丁寧に説明し周知を行った。また中学校校長会の会長の学校にも訪問した。	適切に実施した。	適切に実施された。	◎		①入試広報について, 効果的な活動を行うため, 中学校訪問の手順を工夫して, 教職員の負担を抑えながら, 中学生に広報を行う。 ②令和9年度入試からの推薦基準の変更を決定したので, この入試方法の改善について説明会等で周知を徹底し, その影響を分析する。
4	-1 FD活動推進会議	教務主事	教務係	2	メール会議2回 ①FD講演会を, 3回(グローバル教育・教育改善・いじめ防止)企画し, 活動を推進した。 ②授業参観を, 前期と後期で2回実施し, その内容について, 各学科で検討を行った。	適切に実施した。	活動状況は良好である。	◎	前期の授業参観については, コロナ禍のように保護者も参観できるようにした方がよい。	①FD講演会として, 現在の教育状況を踏まえて, 数物系科目の状況に注目し, FD活動を推進する。 ②今年度は保護者も含めて授業参観を実施する。その効果をアンケートで確認する。
5	専攻科会議	専攻科長	教務係	20	(1)定例会議12回(うちメール会議1回) (2)カリキュラム検討WG会議5回 (3)臨時専攻科会議1回(岐阜大学開講科目の専攻科生履修への対応) (4)臨時メール審議2回 ・特別実習評価シートの修正 ・認証評価自己評価書の指摘事項に対する回答 ①(2)の会議で検討を重ね作成したカリキュラム改定案を2月末に学位授与機構に提出した。 ②認証評価自己評価書作成にあたり, R5年度特例適用専攻科の審査に際し, 包括個表(複数の教員に跨る)作成により助教や講師を含めて専攻科生指導可能とし, R6より専門学科教員定員5名減に対してR5(39名)→R6(35名)を維持していることを確認した。	適切に実施した。	適切に実施された。	◎		①令和7年度までに改善してきた入試制度の早期実行を図るとともに, 必要に応じて見直しの検討を行う。 ②令和7年度にカリキュラム検討を行い確定した新カリキュラムへの移行を着実に進めるとともに, 豊橋技術科学大学のカリキュラム改訂に伴う「連携教育プログラム」の教育課程表の改訂を併せて行う。 ③令和8年度より実施する岐阜大学開講科目の本校専攻科受講について検証を行い, 改善を検討する。

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動, 評価等及び令和8年度活動計画

評価 : ◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦ 改善事項を踏まえたR8活動計画
6	学生会議	学生主事	学生係	36	<p>定例の会議の主な議題を次に示す。</p> <p>①日常的な交通安全指導・校内巡回状況の情報共有し、校内の風紀維持に努めた。</p> <p>②学生会の活動と行事の進捗と運営について指導状況を共有し、健全で楽しい学生会活動となるように努めた。特にスポーツ大会では、すべての学生の参加を促すためeスポーツなどを新種目を積極的に取り入れた。</p> <p>③クラブ活動援助金は、新たに策定された予算立て方法に基づき、適切に配分額を決定した。また、高専体育大会では多くの種目で好成績を挙げ、横断幕を本校正門横に掲示することで、地域への広報、知名度の向上に努めることができた。</p> <p>④適宜、表彰、懲戒、奨学金への推薦について審議した。</p> <p>⑤その他、会議では、学科から挙がってきたクラブ活動に関する業務の在り方、自動車運転免許取得に関する事項について、現状を整理した。</p>	適切に実施した。不正行為における懲戒については、教務会議と連携して検討していく。	適切に活動が行われている。	◎	引き続き、学生の活動を支援しつつ他の会議との連携が期待される。	<p>①令和7年度と同様の登校指導と校内外の巡回体制を維持し、引き続き校内の風紀維持に努める。</p> <p>②高専祭や課外活動等の学生の活動を支援するとともに、これらの活動による本校の知名度向上、地域貢献、近い将来の入試倍率向上に繋がるような催し等を他会議と連携しながら企画し、参加する。</p>
7	寮務会議	寮務主事	寮務係	30	<p>①寮務会議は予定通り適切に実施した。追加審議が必要となった際はteams上で議論し、意見を集約した。(定例会議27回、Teamsチャット会議3回)</p> <p>②寮生会活動については、新入寮生歓迎行事、寮祭、寮生忘年会、寮生デザートの日などを活発に実施することができた。また、寮内学習会を定期試験2週間前に開催し、寮生同士の学習の場の構築に努めた。尚、後期末試験前の寮内学習会については、インフルエンザ流行のため中止とした。</p> <p>③前期は国際交流室主催という形で短期留学生の歓迎会を開き、交流の機会を設けた。また、短期留学生も寮祭や忘年会等の寮生会活動に参加できるようにし、寮生と留学生との交流の機会を増やした。</p> <p>④学外の学寮指導員4名に当直を委託することによって、教員の当直業務の負担軽減に努めた。寮務委員の当直は寮生対応が特に必要とされる日(新年度開寮直後の寮生指導が必要な期間、寮行事開催日、年度末居室点検期間等)とし、当直回数を年2回とした。</p>	活動状況は良好である。	計画に沿って適切に活動が行われている。	◎		<p>令和7年度活動計画を継続し、よりよい寮にしていく。</p> <p>①定例の会議を、前期は毎週木曜日、後期は隔週木曜日の開講期間に開催し、安全で快適な集団生活を円滑に進める為の方策を講じる。</p> <p>②寮生会などを通じて、学び合いの場として寮という場と制度の基礎を構築する。</p> <p>③留学生と日本人学生の交流を進める。</p> <p>④寮内のセキュリティ向上と教職員の業務負担軽減に努める。特に避難訓練等、学生の安全確保に関わる取り組みを強化する。</p>
8	将来計画委員会	教務主事	総務企画係	5	<p>対面会議5回</p> <p>①教学マネジメントとして、中学生人口の推移と本校の倍率との相関を分析し、今後の中学生数の予想を行った。</p> <p>②中堅教員の将来計画WGを設置して、本校の教育改善に対する現場の声をまとめた。</p> <p>③教育目標に関する状態計画WGを設置して、認証評価に対応する3つの方針の再検討を行った。</p>	適切に実施した。	活動状況は良好である。	◎		<p>①成績処理システムの更新検討WGを設置して、今年度の仕様検討に向けた活用方法を検討する。</p> <p>②中核教員による将来計画WGを継続して多様な視点から、本校の将来計画することを検討する。</p> <p>③改組に向けて教育目標および三つの方針を検討するWGを設置し、本校教育の改善を検討する。</p>
9	財務・施設委員会	校長	財務係 施設係	6	<p>・対面会議5回+メール会議1回</p> <p>各種予算・決算や施設整備に関する事項について、十分な審議のうえ実施した。</p> <p>①構内施設設備の改修・利用計画について</p> <p>・令和7年度の設備整備マスタープランについて審議を行い、承認した。</p> <p>・機構本部からの指示による「インフラ長寿命化計画における高専別個別施設計画」の策定について審議を行い、承認した。</p> <p>(ただし本件が確定ということではない旨、今後、全高専の計画が機構本部にて集約・調整され、文部科学省や財務省への予算要求書の材料として使用することが考えられる。)</p> <p>・令和8年度および令和9年度の施設整備費補助金概算要求事業について、審議を行い、承認した。</p> <p>特に、D寮については、機構本部との意見交換を経て対応を進めることとした。さらに、営繕事業については、学内の施設環境の向上を目的とし、優先的に改修を進めるべき事項を決定した。</p> <p>・キャンパスマスタープランについて各学科に最終ヒアリングを実施の上、審議を行い、承認した。合わせて職員宿舎(戸建)の不用決定を行った。</p> <p>・施設設備整備及び財務運営に係る自己点検を行い、基準を満たしていることを確認した。</p> <p>②学内予算配分について</p> <p>令和6年度決算を確認し、学科ごとの予算執行状況を精査した。残額がマイナスとなった学科については、今年度の予算配分の中で調整を行う方針とした。</p> <p>令和7年度の当初予算については、大規模改修費用を考慮しつつ、全体のバランスを見ながら配分を決定した。一般経費については前年度より減額となったが、教育研究活動の継続を考慮し、必要な部分への配分を行った。また、年度途中の予算調整についても、執行状況を踏まえながら適切に対応することとした。</p> <p>令和8年度予算編成方針(案)について、実態及び次年度の活動方針を踏まえ見直しを行った。</p>	適切に実施した。	適切に実施された。	◎		<p>①施設整備費補助金概算要求事業や営繕事業など構内施設の改修・利用計画について、キャンパスマスタープランを踏まえ十分な審議をしていく。</p> <p>②学内予算配分については、ヒアリングの結果等を踏まえ十分な審議を実施し本校の機能強化を図る。</p>

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動, 評価等及び令和8年度活動計画

評価 : ◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦ 改善事項を踏まえたR8活動計画
10	入試運営委員会	教務主事	入試係	6	対面会議6回 ①推薦基準の変更の影響を調べるために、現状の受験者の動向などをアンケート調査して、来年度の変更後の比較検討を行う準備を終えた。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①推薦基準の変更等入試方法の改善について、入試広報で周知徹底し、その効果を分析し今後の入試制度を検討する。
11	広報委員会	総務主事	総務企画係	2	定例会議2回(内メール会議1回) ①高専だより等の広報物に使用される写真の掲載許可確認について、入学時の同意状況を、学科毎に作成。各学科の広報委員に共有することとした。 ②本校ウェブにおける「ニュース」記事の公開年限を5年間とし、最新の情報のみを掲載することとした。 ③自己点検評価書等に沿った自己点検・評価について、ウェブサイト掲載項目チェック表を確認し、不備のある項目について担当係へ修正を依頼。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎	③について、修正の依頼に留まらず、修正の確認までを実施すると良い。	広報活動の充実のために、以下の2点に取り組む。 ①高専だよりの外部広報に対応するための改善計画を検討する。 ②本校ウェブの効果的な活用のための改善計画を検討するとともに、フォローアップを行う。
12	人事委員会	校長	人事係	17 (3/16時点)	①教員の採用・昇任の選考、教職員の人事管理、非常勤講師の選考について、随時適切な審議を行った。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①教員の採用・昇任の選考、教職員の人事管理、非常勤講師の選考について、随時適切な審議を行う。
13	安全衛生委員会	校長	総務企画係 人事係 契約係 施設係	第2条 関係:2 第4条 関係:12	【第2条関係(防災対策)】 ①安全衛生委員会規程に基づき防災対策(第2条)に関する事項を審議した。 【第4条(安全衛生)】 ①事務部長を議長に、安全衛生に関する事項を審議した。 ②毎月1回委員会を開催し、教職員の危険防止・健康促進・労災防止等に関する事項を審議するとともに、感染症拡大についても産業医を中心に情報共有を行い、他の教職員に対して感染予防を啓発する取り組みを行った。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①安全衛生委員会規程に基づき防災対策(第2条)、環境保全(第3条)、安全衛生(第4条)に関する事項を審議する。 ②安全衛生に関する事項については、毎月1回委員会を開催し、教職員の危険防止・健康促進・労災防止等に関する事項を審議するとともに、感染症の拡大についても情報共有および審議を行い、他の教職員に対しても感染予防を啓発する取り組みを行う。
14	点検評価・フォローアップ委員会	委員長	総務企画係	4	①令和6年度参加会における本校の課題をスパイラルアップ会議に提出し、将来計画委員会でまとめられた「令和6年度参加会における点検・評価による本校の課題への対応(計画)」を参加会で添付して報告した。また、令和7年度参加会における本校の課題をまとめた。 ②「中期計画ワーキンググループ」、「自己点検・評価実施ワーキンググループ」、「学習評価フォローアップワーキンググループ」が活動しやすいようにWG長、副WG長を置いた(第1回点検評価・フォローアップ委員会議事録を参照)。	改善すべき事項なし。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①参加会を開催し報告書を作成する。課題を整理しスパイラルアップ会議へ提出する。 ②本年度は国立高専教育国際標準(KIS)、数理・データサイエンス・AI教育プログラムなど教育内容について点検評価の重要なタイミングとなっていることから本委員会の「中期計画WG」、「自己点検・評価実施WG」、「学習評価フォローアップWG」が円滑かつ確実に活動できるようにWG長をサポートするための副WG長各2名を置く。
14	-1 中期計画WG	委員長	総務企画係	4	下記の基準で点検を行った。 ①『年度計画の策定及び実績実施状況の自己点検・評価に関するガイドライン』に準じているか。特に箇条書きの表記方法。(アラビア数字の箇条書きをやめて丸印の列挙で統一) ②「年度計画」と「実施状況」の記載項目が対応しているか。 ③「年度計画」が定量的である場合には、「実施状況」も定量的に表現できているか。 ④「問題点等」の列に、「○」、「△」、あるいは「×」の記載はあるか。	改善すべき事項なし。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①作成された年度計画を確認し、年度計画達成状況(高専機構本部の書式)を点検する。
14	-2 自己点検・評価実施WG	委員長	総務企画係	5	①9/26に参加会を実施した。参加会報告書を作成し、参加会における点検・評価による本校の課題を取りまとめた。	改善すべき事項なし。	計画通り実施されている。	◎		①R7年度実績に対する各主管の自己点検結果(機関別認証評価の書式)を確認し、自己点検・評価報告書を取りまとめる。

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動, 評価等及び令和8年度活動計画

評価 : ◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦ 改善事項を踏まえたR8活動計画
14	-3 学習評価フォローアップWG	委員長	総務企画係	6	①R6年度の学習評価フォローアップ点検実施要領に基づき点検を行った。R7年度の学習評価フォローアップ点検実施要領を作成した。これに基づきR8年度に点検実施予定。 ②アンケートの電子化について検討し、WebClassを利用して行うことに決め、授業アンケートを前期末と後期末にWebClassを利用して実施した。 ③成績評価資料の保存方法を検討し、解答用紙を学生に返却しないでスキャンして保存することとした。	改善すべき事項なし。	計画通り実施されている。	◎		①学習評価フォローアップ点検実施要領を更新し、要領に基づき点検を行う。 ②R9年度に予定されている機関別認証評価への対応として教育改善活動(科目レベル)の向上に向けた課題を整理する。
15	国際交流室会議	室長	寮務係	6	①JASSOの海外留学支援制度や高専機構の海外渡航支援制度、講演会による国際交流基金を活用し今年度、本校プログラムにより派遣した学生全員に支援金を支給し、支援することができた。 ②シアトル未来理工系人材育成プログラムでは31名、NYCU台湾サマーキャンパスでは36名の学生を派遣し、プログラムを実施した。また、これらに加えシンガポール研修も新たに実施し、30名を派遣することができた。 ③昨年度に引き続き、電気情報工学科では、研修旅行を海外(ベトナム)で実施した。渡航に関わる調整は国際交流室長が行った。 ④海外イベントでは、ベトナムで行われたロボコンやシンポジウムに参加した。また、シアトル研修や台湾研修、シンガポール研修でも大学等の海外教育機関で学生の交流を主に行った。	改善すべき事項無し。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①JASSO, その他補助金を十分に活用して学生の海外渡航を支持する。 ②シンガポール研修, 台湾研修, セブ研修の渡航プログラムを継続し実施する。 ③海外への研修旅行を目指し、担任と連携して海外渡航のリクエストがあれば対応できる体制を作る。 ④その他各大学へでのイベントや学会等へ学生を派遣し、海外での活動を支援する。
16	人権委員会	事務部長	人事係	7	①ハラスメントに関する案件が発生した際、都度人権委員会を開催し、対応した。 ②その他人権やハラスメントに関する啓発及び研修の企画・実施を行い、人権侵害やハラスメントの防止に努めた。 ・人権講話の開催(10/29) ・人権啓発リーフレット「心の輪」の掲示(7月, 9月, 12月) ・本巢市学校人権教育主任会への出席(5/1)	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①ハラスメントに関する案件が発生した場合、人権委員会として適切な対応を行い、必要に応じて第三者の導入を検討する。 ②その他人権やハラスメントに関する啓発及び研修の企画・実施を行い、人権侵害やハラスメントの防止に努める。
17	情報セキュリティ管理委員会	情報処理センター長	図書・情報係	2	①情報セキュリティ推進委員会の活動を確認した。 ②ソーシャルメディア運用方針(案)を作成した。 ③情報セキュリティインシデントの対応を行った。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①機構本部の情報セキュリティ関連規則見直しに伴い、本校の情報セキュリティ関連規則を改定する。 ②情報セキュリティ推進委員会の活動状況を確認する。
18	情報セキュリティ推進委員会	情報処理センター長	図書・情報係	6	①サーバ及びクライアントのシステム台帳を更新した。 ②脆弱性情報等の情報セキュリティ関連情報を毎月学内で共有して注意喚起した。 ③4/7に新入生対象の情報倫理・セキュリティ研修を実施した。 ④8/6に教職員対象の情報セキュリティ研修を実施した。 ⑤標的型メール開封のリスクについて全教職員にメール周知するとともに、1/28に教員を対象として開封時の報告の必要性について話をした。 ⑥情報セキュリティ監査指摘事項および助言・アドバイス対応として ・野良Wi-Fiの特定 ・BYOD導入に向けた持ち込み端末の管理 ・作業記録、障害対応記録フォーマットの整備等を行なった。 ⑦教職員向け誓約書及びセルフチェックリスト、及び学生向け情報セキュリティ宣誓書を提出させた。	適切に実施した。	計画に沿って活動が実施されている。	◎		①サイバーセキュリティ対策規則に基づきサーバ及びクライアントのシステム台帳を更新する。 ②情報セキュリティインシデント情報を学内で共有して注意喚起する。 ③新入生対象の情報倫理・セキュリティ研修を実施する。 ④教職員対象の情報セキュリティ研修を実施する。 ⑤標的型メール訓練の開封未報告者に注意喚起する対策を行なう。 ⑥セキュリティ監査の指摘・助言事項について実施可能な対応を行なう。 ⑦教職員向け誓約書及びセルフチェックシート、及び学生向け情報セキュリティ宣誓書を提出させる。

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動、評価等及び令和8年度活動計画

評価：◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦改善事項を踏まえたR8活動計画
19	テクノセンター運営委員会	テクノセンター長	研究協力係	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>■テクノセンター全般                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携協会、本校産学官連携コーディネータを通じて産学官連携を推進した結果、本年度は、科研費26件（新規3、継続23）、共同研究18件、受託研究6件・受託事業1件、寄附金19件、岐阜高専基金5件、助成金22件であった。</li> <li>・地域連携協会と本校との連携やテクノシンポジウム（日程や内容）について再検討し、テクノシンポジウムを3月11日に開催した。</li> <li>・共同利用研究室（3部屋）の利用を案内し、研究や教育で適切に利用された。</li> </ul> </li> <li>■技術開発部門                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究シーズ集、地域連携協会会報などをウェブ上で公開した。</li> <li>・岐阜県工業会、岐阜大学協会、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜、中部イノベネットと連携を通して地域連携を推進した。</li> </ul> </li> <li>■技術教育部門                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりリテラシー教育実習に89名、科学技術リテラシー教育に11名の単位認定を行った。</li> <li>・スタートアップ利用の部屋（起業家工房1～3）と利用方法を整備し、学生の教育活動で適切に利用された。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動状況は良好である。</li> <li>・引き続き、地域連携協会と本校との連携について検討を行う。</li> <li>・機器分析ラボの外部利用の規定を整備する。</li> </ul>	計画通り適正に実施されている。	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>■テクノセンター全般                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノシンポジウムの開催</li> <li>・本校産学官連携コーディネータを通じて産学官連携の推進</li> <li>・テクノセンター施設を活用した研究活動、課外活動の推進</li> </ul> </li> <li>■技術開発部門                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校地域連携協会、岐阜県工業会等外部機関との連携を通して地域連携を推進する</li> <li>・研究シーズ集、地域連携協会会報などをウェブ上で公開して情報発信する</li> </ul> </li> <li>■技術教育部門                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・リテラシー活動、スタートアップ活動を通して、学生の教育活動を行うとともに地域連携を推進する</li> </ul> </li> </ul>
19	-1 スタートアップ教育推進室	室長	研究協力係	1	起業家工房1、2、3の管理運営をした。利用者名簿や利用方法の整備をして学生に利用してもらえ環境を整えた。授業の課題製作、リテラシー教育活動、短期留学生の活動など幅広い学生に起業家工房の利用があった。	起業家工房の利用について学生への周知が十分でないため年度始めに周知をする。	計画通り適正に実施されている。	◎	起業家工房利用について学生の利便度向上を期待する。	起業家工房の整備を進め、学生の利用を促す。
19	-2 科学技術リテラシー教育推進室	室長	技術室	1	昨年度からリテラシー教育のテーマをコンテスト等にも対応するよう拡大し、全学科からテーマが提案され、募集テーマ数は22と過去最高であった。複数のテーマに参加することを認め、参加学生はのべ本科104名、専攻科12名で、単位修得者数は本科89名、専攻科11名、総数100名となった。今年度まだコロナ禍の影響で人数制限等の制約が残るものもあったが、大小さまざまなイベントやコンテストにおいて、学外活動を行うことができ、また主催行事もモレラ岐阜で2回開催した。 ・4/23に学生募集開始、5/22にガイダンスを行った。 ・1/14に活動報告会を開催し、テーマごとにポスター発表を行った。	例年参加学生が増加し、現在は参加者が全校学生の約1割になっており、活動は非常に良好である。一般科含め全学科からテーマを提案できており、色々な学科の学生が混ざり1つのテーマに取り組む機会を与えられていることは、学科横断教育活動の観点からも有用な活動となっていると考えている。教員一人当たりの負担増加が問題となっていたが、Teams等DXにより合理的運営が進み、室員は各学科を代表するもので充分機能している。テーマ数と複数教員で担当するものが増え、全体として教員の負担を若干減らせる方向になった。学外活動への負担については、活動が活発なほど負担も増えるものであり、さらなる対応が望まれる。	計画通り適正に実施されている。	◎	活動が活発であるため教員の負担増にならないよう学生の引率方法などの工夫を期待する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を限定せず、教育活動についてコンテスト等を含めた多種多様なテーマで展開できるよう拡充していく。</li> <li>・合理的運営は進んでいるため、さらなる負担軽減について効率化を進める。</li> </ul>
19	-3 若駒連携推進室	総務主事	研究協力係	2	若駒会の予算を活用して、学生の資格試験の表彰については、内容を確認し予算内での対応を確認した。社会人実践力開発セミナーに関しては、責任者と会議を1回行い、その内容や効果を確認し、来年度の活動に反映させた。	適切に実施した。	計画通り適正に実施されている。	◎	HP内にある本校規則類に掲載されている若駒表諸関係が改正前の内容であるため変更することが望ましい。	若駒会役員会および総会に参加し、若駒会との連携を図る
19	-4 知的財産委員会	テクノセンター長	研究協力係	1	産学官連携コーディネーターの知的財産委員会への出席を求め、特許権の権利存続について審議した。	適切に実施した。	計画通りに適正に実施されている。	◎		新規審査、審査請求対応、権利消滅審議等について適切に対処する。
19	-5 機器分析室運営委員会	委員長	研究協力係	1	①R8年度に技術職員を追加する。機器のメンテナンスや消耗品(AFM、3Dプリンタ)の充填を行なった。	予算内では機器の保守ができないため、年度によって予算にメリハリをつけることを検討すべきである。	計画通りに適正に実施されている。	◎	修理が必要な機器があるようなので、予算申請から計画的に維持管理することが望まれる。	①にFT-IRの修理を行うため予算執行計画をテクノセンター長と協議した。今年度は、その予算措置によりFT-IRの修理を行う。 ②技術職員を追加して管理体制を整える

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動, 評価等及び令和8年度活動計画

評価 : ◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦ 改善事項を踏まえたR8活動計画
20	メディア委員会	総務主事	図書・情報係	6	<p>■図書館部門</p> <p>1) ブックハンティング、学科推薦図書を通じて蔵書の整備を進めた。</p> <p>2) 利用者の増加の一環として図書館企画展（「音のデザイン」「放浪図書館」）を実施した。</p> <p>■情報処理センター部門</p> <p>1) 計画に則り学内無線LANアクセスポイントを更新した。</p> <p>2) 教育用電算システムの端末OSをWindows11へ更新した。</p>	適切に実施した。	計画に沿って活動が適切に実施されている。	◎		<p>■図書館部門</p> <p>1) 図書館の設備について、効果的な活用のための整備計画を検討する。</p> <p>2) メディアなどを活用して広報活動を行い、利用者の増加を図る。</p> <p>■情報処理センター部門</p> <p>1) 令和9年度のBYOD導入に向けて、PC撤去後の演習室利用方針を検討する。</p> <p>2) Webサーバ更新へ向けた計画を作成する。</p>
20	IT技術管理WG	情報処理センター長	図書・情報係	2	①次期高専統一ネットワークの論理設計を行い、パラメータシートを作成した。	適切に実施した。	計画に沿って活動が適切に実施されている。	◎		①令和9年度末の教育用電算システム更新に向けて、演習室システムに関する情報を収集する。
21	学生相談室会議	室長	学生係	7	<p>①月1回会議を開催し、学生支援に関する情報共有を行った。</p> <p>②学生の生活状況、ストレス状況などを把握するためのアンケート調査を行った。</p> <p>③学生やその家族のメンタルヘルスを維持するため、Teamsを利用したオンライン面談、電話相談を併用した。</p> <p>④1・2年生を対象に、特活時間を利用してメンタルヘルス、コミュニケーションに関する講演会を実施した。</p> <p>⑤業務体制に合わせた関連規程の改正を検討した。</p> <p>⑥研修等により、引き続き学生支援の質の向上を図った。</p>	適切に実施した。	計画に沿って活動が行われている。	◎	引き続き、学生支援の充実に向けた検討が期待される。	<p>①月1回程度会議を開催し、学生支援に関する情報共有を行う。</p> <p>②学生の生活状況、ストレス状況などを把握するためのアンケート調査を行う。</p> <p>③学生やその家族のメンタルヘルスを維持するため、Teamsを利用したオンライン面談、電話相談を併用する。</p> <p>④1・2年生を対象に、特活時間を利用してメンタルヘルス、コミュニケーションに関する講演会を実施する。</p> <p>⑤業務体制に合わせた関連規程の改正を検討する。</p> <p>⑥研修等により、引き続き学生支援の質の向上を図る。</p>
22	教員会議	校長	総務企画係	10	<p>①主管会議・運営会議にて審議および協議された事項について周知報告を行い、意見を聴き、本校の意思統一を図った。</p> <p>②定例会議7回開催、臨時会議3回開催。</p>	適切に実施した。	<p>計画に沿って適切に活動が行われている。</p> <p>①教員会議は、周知報告の場である。周知報告を受ける教員は、ここでの意見から意思統一を図ろうとする過程があるのであれば、その旨を伝えるべきである。</p> <p>今一度、各会議の役割や関係を教員に伝えることも検討されたい。</p>	○	<p>①教員会議は、周知報告の場である。周知報告を受ける教員は、ここでの意見から意思統一を図ろうとする過程があるのであれば、その旨を伝えるべきである。</p> <p>今一度、各会議の役割や関係を教員に伝えることも検討されたい。</p>	<p>①主管会議・運営会議にて審議および協議された事項について周知報告を行い、意見を聴き、本校の意思統一を図る。</p> <p>また、教員へこの趣旨を説明する。</p> <p>②年間7回の定例会議を開催する。</p>
23	学級担任会議	教務主事	教務係	4	<p>対面会議4回</p> <p>①全体会議を4回行い、一般学科の低学年担任と専門学科の高学年担任との情報交換を行った。</p> <p>②各行事の対応について、学級担任への連絡を十分に行い、効率的な運用を行った。</p>	適切に実施した。	<p>計画に沿って適切に活動が行われている。</p> <p>②どの点を効率的に運用したか不明である。</p>	◎		<p>①4回の全体会議と研修旅行等関連の会議を随時開催し、学級担任間の連携を図る。学級担任会議では、学科毎の分科会を行い学科内での情報共有を促進する。</p> <p>②会議以外にも随時、学生への連絡体制を維持するために、直接連絡と担任経由の区別を検討する。</p>
24	クラブ顧問連絡会議	学生主事	学生係	3	<p>定例である年間3回のクラブ顧問連絡会議を全て実施した。定例の会議は、概ね連絡事項、依頼事項等を正確に伝えられ、その役割を概ね果たした。</p>	<p>適切に実施した。</p> <p>顧問業務の負担軽減に向けて、さらに丁寧に議論を重ねていく。</p>	適切に活動が行われている。	◎	引き続き、顧問業務の負担軽減に向けた論議が期待される。	<p>①令和7年度と同様の活動を維持する。</p> <p>②クラブ顧問の業務の見直しや従来の各種制度や慣例を改革する場合には、コンセンサスが得られるよう丁寧に説明する。</p>
25	若鮎奨学基金運用委員会	校長	総務企画係	1	①若鮎奨学基金について適切な管理・運営（助成金の助成）を行い、学生の資格取得や学会発表参加の促進を図った。	適切に実施した。	計画に沿って適切に活動が行われている。	◎	助成対象資格について、拡大を含めた検討が期待される。	①若鮎奨学基金について適切な管理・運営（助成金の助成）を行い、学生の資格取得や学会発表参加の促進を図る。

令和7年度 会議・委員会・部門委員会の活動, 評価等及び令和8年度活動計画

評価 : ◎, ○, △, ×

番号	会議・委員会・部門委員会名	委員長等	担当課・係	①会議開催回数 R7	②今年度の活動内容 R7	③自己点検及び改善すべき事項 R7	④評価概要 R7	⑤評価 R7	⑥改善事項 R7	⑦ 改善事項を踏まえたR8活動計画
26	特別支援検討委員会	学生主事	学生係	7	配慮申請書を提出された学生に対する支援の検討を委員会で実施した。なお、昨年度から配慮内容が変わらず、同様の支援に関する継続審議は書類審議とした。	学生及び保護者からの要望に応じて適切に会議を実施した。特に、肢体不自由の学生に対する支援については、教務会議、学生相談室、特命教授、体育科等とも連携し、可能な範囲で適切に対応できた。	計画に沿って活動が適切に実施されている。	◎		①学生及び保護者からの要望を受けて、学生の学修や学校生活に支障が出ないように、迅速かつ個々の状況に合った対応をする。 ②提出された配慮事項については、委員の各種意見を尊重しながら慎重に審議・検討する。
27	ダイバーシティ推進室 (旧男女共同参画推進室)	教務主事	人事係	3	メール会議3回 ①ダイバーシティ推進のために、学内の状況を把握する体制を整えた。 ②ダイバーシティ推進のための、研修会の案内などを行い啓発活動を行った。	適切に実施した。	計画に沿って活動が適切に実施されている。	◎		①ダイバーシティ推進の観点からの施設整備改善に活かされるよう体制を整えるとともに、関係者への情報共有を徹底する。 ②学生および教職員に対し、適切な啓発活動を検討・実施する。
28	リスク管理室会議	校長	総務企画係	56	①学生等の安全・教育研究等にかかわる重大な事態や、本校の社会的信頼を損なう事態が予測される事案への対応として、毎週単位の会議を開催し、必要な措置を講じた。	適切に実施した。	適切に活動が行われている。	◎		①学生等の安全・教育研究等にかかわる重大な事態や、本校の社会的信頼を損なう事態、施設管理上の重大な事態が発生した際等に速やかに開催し、必要な措置を講じる。
29	キャリア支援室	教務主事	教務係	2	メール会議2回 ①キャリア教育プログラムの調整を行い、活動を継続した。 ②学生のキャリアサポート体制を維持して、関係情報を提供した。 ③キャリアプログラムを、4会場で12/10に学校行事として実施した。	適切に実施した。	計画通り実施されている。	◎		①キャリア教育プログラム（共通・専門）を継続する。 ②学生のキャリアサポート、就職・進学関係情報提供を継続する。 ③キャリアプログラム12/6を、学校行事として実施する。
30	いじめ対策会議	校長	学生係	9	定例の会議と個別案件の会議を合計9回開催した。定例の会議では、いじめ防止対策にかかる評価と今年度目標の確認、いじめに関するアンケート調査内容の検討及び実施、いじめに関するアンケート結果の把握、いじめ講演会の実施をした。また、個別案件の会議では各案件の状況報告を行い、その後の対応方法の検討を行った。	適切に実施した。	適切に活動が行われている。	◎		令和7年度と同様の事項を実施及び検討するため、会議の開催を年間6回予定している。 併せて、アンケート項目の検討やいじめ講演会の実施についても検討する予定である。
31	FD・SD推進会議	校長	人事係	3	対面1回、メール会議2回 ①FD・SDの実施方針・実施計画を策定のうえ研修や講演会等を適切に企画・開催し、活動を推進した。 ・FD講演会（4回実施：5/20、3/6、3/13に2回） ・SD講演会（1回実施：9/9）	適切に実施した。	計画に沿って活動が適切に実施されている。	◎		FD・SDの実施方針・実施計画を策定のうえ研修や講演会等を適切に企画・開催し、活動を推進する。